



No. 591

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

8.15全国宣伝行動 前列中央、山添拓参議院議員 (於: JR池袋駅西口)

原発汚染水の海洋放出をやめよ！ 平和くらし脅かす悪法許すな

政府、東京電力は8月24日、東電福島第1原発事故で発生した汚染水(アルプス処理水)の海洋放出を強行しました。政府・東電は2015年、福島県漁業協同組合連絡会と「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」約束を交わしています。汚染水放出は直ちに中止を求めます。

政府は、来年秋に現行の保険証を廃止し、マイナンバーカードでの受診の一本化を目指しています。マイナンバーカードの取得は本来本人の判断で決めるものです。マイナンバーカードで受診できるようにするためにはひも付けが必要ですが、厚労省の調査でも約77万件がひも付けできず、健康保険証代わりを利用できない状態です。さらに政府は、広範な反対を押し切って消費税インボイス(適格請求書)制度強行のかまえてです。消費税の仕入れ税額控除が受けられないこの制度は、免税事業者は、取引停止を恐れて登録せざるを得ず、消費税は赤字でも支払わなければなりません。

政府は、「防衛装備移転三原則」の運用見直しに関する自民、公明両党の実務者協議で、日英伊で共同開発する次期戦闘機の消費税減免と第三国への輸出を可能にする考えを提示するなど、殺傷兵器の輸出を全面解禁する姿勢を示しました。

国会・国民軽視の岸田自公政権は、平和とくらしを脅かす悪法をつぎつぎと強行しようとしています。臨時国会開け！ 国民の声を聴け！ の大きな声をあげましょう。

主 な 記 事

- 8・15宣伝行動、各県本部の大会・総会……………2
- 私も一言/伊賀かずみ……………3
- 顕彰碑/田添鉄二……………5
- 抵抗の群像/松崎豊作……………6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳……………7

8・15終戦記念日全国一斉宣伝

82カ所・310人参加 7万9千枚のビラ配布

終戦記念日全国一斉宣伝は、台風の接近のなかで頑張り、31都道府県82カ所で310人が宣伝し、ビラ配布7,535枚、新聞折込72,120枚を活用しました。

各県の取り組みでは、宣伝参加者は、青森・秋田でそれぞれ40人、東京は49人が参加、裏面に刷り込んだ入会申込書で4人の入会者がありました。



新潟県同盟 (JR新潟駅)

2023年度「8.15ビラ」宣伝・活用状況 2023.8.30現在

県名	支部数	宣伝場所	参加人数	配布ビラ	新聞折込数	県名	支部数	宣伝場所	参加人数	配布ビラ	新聞折込数
北海道	3	3	20	150	150	滋賀					100
青森	5	7	42	362	2,800	兵庫	3	3	7	430	
秋田	8	23	40	520	7,610	和歌山	4		15	300	500
山形	10	3	11	1000	3,100	鳥取	1	1	3	60	120
茨城	0	0	0	0	3,160	岡山	2	1	4	50	200
群馬	0	6	2	0	2,500	広島	3	0	0	300	1,200
埼玉	0	0	0	0	50	山口			1	200	200
千葉	2	3	7	300	7,500	徳島	0	0	0	0	800
東京	11	6	49	350	15,930	愛媛	0	0	0	0	2,000
神奈川	1	1	15	143	11,800	高知	1	0	3	100	
山梨	5	14	22	1140	1,000	長崎					1,500
長野	4	3	24	180	600	熊本					300
新潟	3	2	12		630	宮崎	2				1,500
岐阜	5	5	25	450	0	鹿児島	0	0	0	0	600
静岡	4	0	0	0	4,970	沖縄					500
愛知	11	1	8	1500	800		88	82	310	7535	72120

ました。
宣伝箇所は、秋田23カ所、山梨14カ所などでした。
例年より、ビラの受け取りが
良く反響がありました。

各県本部が大会・総会

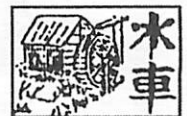
埼玉 連続前進で初の年間
拡大目標を達成



第58回
県本部総
会を8月
26日に伊
藤岳参議
院議員を
迎え「情
勢と同盟
の役割」
の学習講
の学習講

演で開会。加藤ユリ会長は、「この1年間、伊藤千代子の映画上映運動で目標の達成を力に、会員拡大で、史上最高の現勢で総会を迎え、前総会が決めた年間会員拡大目標450人達成も残り4人と迫る勢いを作り出した。総会確定現勢の9月1日までに達成を」と呼びかけました。

大野辰男事務局長は、会員数は前総会より71人増、120%前進で最高現勢446人に到達、23カ月連続前進で、2019年の39回全国大会比で143%に前進。
(3ページにつづく)



財界主導で、令和国民会議(令和臨調)が
22年2月28日に発足した▼共同代表は「メツキの剥けた自由民主制

といい、事実さえ無視する傾向がある」と現政権の行き詰まりを認め、「日本社会と民主主義の持続可能性」実現を目指すという。この会の共同代表4人、その中に札付きの東電の代表、日本郵政の代表が座っている▼岸田自公政権は、閣議決定を乱発。国会、憲法、世論を踏みにじり問答無用と強行している、独裁政治そのものです。日本は、天皇制のもとで朝鮮、中国アジア、日本国民に塗炭の苦しみをもたらした侵略戦争の敗戦に正面から向き合い、反省し、憲法にもとづく民主政治を実現することです▼令和臨調による自民党政治の延命と翼賛体制の構築は注視しなければなりません▼誰の目にも現政権の行き詰まりは世論調査からも明らかです。総選挙勝利へ市民と野党の共同に全力を挙げ、多数派で憲法にもとづく民主政治を実現しましょう。
(中)

(2ページからつづく)

次期総会は、「県同朋結成50周年」

して、女性部の再開総会も9月30日に開催します。

東京

学習と顕彰活動は同盟活動前進の力

であり、懸案の支部づくりで支部を倍加させ目標を500人と提案。

会長には、加藤ユリ、事務局長には大野辰男を再選、理事も4人増え39人となり、理事の女性比率も33%と大幅に増えました。

7月22日文京区で第46回大会を開催しました。各支部から31人が参加。2022年の活動の総括と23年度方針を決定しました。

で最高筆数を記録しましたが、目標の1万筆を必ず突破しようと呼びかけました。

埼玉は、総会後も奮闘し、9月1日で年間目標を超過達成しました。

会員拡大では、前大会後10カ月で27人の前進。国会請願署名では、3年ぶりに1万筆を越え1万2200筆の到達、財政では、初めて

財政分野の前進も報告され、懸案であった「埼玉・女性の会」と

（県本部事務局長・大野辰男）

00筆の到達、財政では、初めて

案であった「埼玉・女性の会」と

（県本部事務局長・大野辰男）

00筆の到達、財政では、初めて

タレントのタモリさんが発した「新しい戦前」という言葉が、話題になりました。

岸田政権の大軍拡構想のもとで、日本は戦争準備モードの段階に入っただけで、戦前の治安維持法で弾圧犠牲者救援を掲げて結成された私ども日本国民救援会や、「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」というスローガンを掲げる治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟のみなさんの、「事実」を伝える声が強く求められています。

黒字に転換、50周年までに長期負債を克服し、都財政健全化をめざすことを決めました。支部建設では23区に支部建設をめざします。特別決議「岸田内閣による戦争する国づくりに断固抗議する」を採択し岸田首相に送付しました。大会のはじめに「岸田大軍拡と『安保3文書』」をテーマに小泉親司氏（日本共産党基地対策委員会責任者）による記念講演をおこないました。

一言も私

と戦争の政策を進めていた政府と、侵略戦争反対、主権在民、生活上、社会進歩などを求める国民

諸国への侵略と戦争の政策を進めていた政府と、侵略戦争反対、主権在民、生活上、社会進歩などを求める国民

の治安維持法で弾圧犠牲者救援を掲げて結成された私ども日本国民救援会や、「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」というスローガンを掲げる治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟のみなさんの、「事実」を伝える声が強く求められています。

「新しい戦前」を許さず 平和な未来を次世代に

伊賀かずみ

安維持法犠牲者国家賠償要求同盟のみなさんの、「事実」を伝える声が強く求められています。

の運動が、激しく衝突しています。

意図をもって振りまかれていた漠然とした不安感のもと、「新しい戦前」を許さず、平和な未来を次世代に継承するために、ともに声を挙げ続けたいと思います。

政府は治安維持法・特高警察などを使って過酷な弾圧を強化していた時代です。

意図をもって振りまかれていた漠然とした不安感のもと、「新しい戦前」を許さず、平和な未来を次世代に継承するために、ともに声を挙げ続けたいと思います。

警察などを使って過酷な弾圧を強化していた時代です。

意図をもって振りまかれていた漠然とした不安感のもと、「新しい戦前」を許さず、平和な未来を次世代に継承するために、ともに声を挙げ続けたいと思います。



です。

たいと思います。

(日本国民救援会・会長)

(都本部事務局長・中嶋育雄)

(4ページにつづく)

福井 学習し、行動する 同盟へ



第36回福井県本部総会 8月20日、福井市の県教育センターで20人が出席して開かれました。

多喜二」をみんなで鑑賞しました。会長に村井慶三、事務局長に吉田智明を選出しました。

(県本部事務局長・吉田智明)

和歌山

新たな戦前の中で たたかう同盟に

和歌山県本部第34回大会は8月19日ホテルシテイインワカヤマを会場に出席代議員21人オプザーバー4人・会計監査委員2人、会長・

事務局長の総計29人で開催しました。

発言者は6人で「新たな戦前



の中でたたかう同盟にしていかなければならない、会員拡大、会費納入などについて発言がありました。

会長に鶴田至弘、事務局長に南條佳弘を選出しました。

(県事務局長・南條佳弘)

鳥取

学習と顕彰活動 同盟前進のカギ

8月23日、第31回県本部大会が30人の参加で3年ぶりに開催され

ました。地元の長谷川日本共産党町会議員、杉本青県委員長からの来賓挨拶をいただき、中央本部の福井副会長も岡山から駆けつけてくれました。

コロナで活動が困難でしたが、西部地区の「伊藤千代子」映画上映会を米子革新懇と国賠の共同で開催して成功させました。会長に竹中寿健、事務局長に中村洋を選出しました。

(県本部会長・竹中寿健)

一気に4人の会員を増やす

北海道D支部で

D市の男女参画推進協議会に参加し活動しているAさんは、これまでの活動経験を全国に広げようとネットワークを立ち上げて交流活動を続けてきましたが、コロナ禍で思うようにはなりませんでした。しかし、ささやかな集まりは続けていました。

ある日のことでした。その古参のAさんが、参加者に訴えました。「今の日本は、『戦争する国』へと舵を切ろうとしています。戦

前の暗黒時代に命を懸けて戦争に反対した人たちがいたことが、私が加入している治安維持法同盟の機関誌『不屈』に載っており、すごく感動しました。今こそ治安維持法の再現を許さないために、皆さんも加盟してください」と呼びかけました。その場で2人の方が「私も入ります」と決意を表明してくれました。

するともう一人の方が、「私は実をいうと最近まで入っていたがやめたばかりです。こんなに仲間が増えたなら、私も再加盟します」と表明しました。こうして一気に3人増えました。

その翌日、古参の呼びかけ人から「私のパートナーも加盟することになりました」と報告があり、2日で4人が増え、支部は大喜びです。

北海道本部は9月27日道本部大会を開催しますが「それまでに35人を拡大する」ことを8月20日の常任理事会で決めました。この日の出来事が、全道を大きく励ますこととなりました。

吉田智明事務局長が総会議案を報告し、討論の後、全会一致で可決されました。

総会後は、映画「時代を撃て・

顕彰碑 探訪

多数者革命の先駆者 田添鉄二の顕彰碑

明治時代に多数者革命を主張した稀有の革命家・田添鉄二(1875~1908)の顕彰碑は熊本市の田添の生家敷地の一角にあります。没後115年の2013年、有志の手で建てられました。



幸徳秋水や堺利彦など多くの社会主義者がマルクス主義を離れてクロポトキンの無政府主義に傾倒し、普通選挙や議会闘争を否定して「少数精鋭の直接行動」による革命を主張し、一方で片山潜が「帝国憲法ほど社会主義実現にとって完全無欠なものはない」と明治憲法を絶賛し、

と主張していた中で、田添鉄二はマルクス主義を堅持し、革命の主体は労働者階級であり、労働者階級を教育し組織し団結させる粘り強い活動が不可欠、ゼネストも必要だが選挙や議会闘争も活用し、千人中九百九十九人の同胞が妻子を携えて参加できる革命方針のもと国家に労働者階級の要求を突き付け、国家がそれに全く耳を貸さないなら「彼らが建てたる砂上の高樓を根底から洗い去らねばならぬ」と労働者階級による革命を主張したので。今日につながる多数者革命の先駆者・田添鉄二の顕彰碑に足を運んでみてはいかがでしょうか。

【交通】所在地は熊本市南区美登里町1159。JR鹿児島本線川尻駅からタクシーで10分。(中央本部副会長・田添鉄二顕彰会事務局長 小田憲郎)

映画『わが青春につきるとも』
—伊藤千代子—上映コーナー

第3次上映運動—字幕版—
「監督&主演女優のビデオメッセージ」を配給

映画「わが青春……」の第3次上映運動は、8月の戦争展(京都)、母親大会(埼玉県)などと結合、20を超える都道府県で実行委員会が再開され、神奈川県相模原上映会には、小澤睦夫県同盟新会長も応援に駆け付け2会場で400人を超える成功を勝ち取りました。

映画推進「全国の会」では、①「上映権無し」の上映会もスタート、②地域巡回上映会などの新方針を提起して、空白自治体を無くし、有権者1000人に1人の参加目標をめざそうと呼びかけています。また、9月からは「字幕版」

と「監督&主演女優・井上百合子ビデオメッセージ」を配給します。

晩秋の北海道多喜二&ゆかりの人々訪ねる4日間ツアー

「全国の会」協賛・「晩秋の北海道」多喜二・野呂・西田信春 & 三浦綾子・富良野4日間の旅」を10月23~26日の日程で行います。ガイドは映画千代子原作者の藤田。

旅程

- ・23日(月) 小樽商大・文学碑・小樽運河と多喜二(小樽泊)
- ・24日(火) 拓銀・文学館と多喜二周辺(ニセコ泊)
- ・25日(水) 有島記念館・「東俱知安行」↓長沼の野呂↓新十津川の西田(旭川泊)
- ・26日(木) 宮澤賢治詩碑・三浦綾子記念館(生活図画事件・菱谷さん激励予定)・富良野「不在地主」の現場とワイン工場。

※20人限定デラックスバス。羽田発着組14万円。関東以外の道内・現地集合組9万6千円(フライト手配可)。

主催 旅行者・旅せん
☎0900-4527-1129



抵抗の群像



集賢生

集賢党事件22歳で獄死 名寄新芸術協会書記

まつざきとよさく
松崎豊作

1928年12月5日、山本宣治・労農党代議士の演説会が旭川市内の旭座で行われました。山野こと、今野大力が、その演説会を聞きに行ったことを小説『スパイ老農夫』のなかで描いています。

その時一緒に行った友人が、昨日、名寄へ行ってきた竹崎という設定になっています。竹崎とは、おそらく松崎豊作のことでしょう。豊作は、名寄集産党事件で検挙され、その頃、禁錮2年の札幌控訴審判決後上告し、刑確定までの保釈中の身でした。密かに旭川合同労組の仕事もしていました。

大力の小説の中で竹崎（松崎）は「物言うのがつらい―脚がだるい―食欲がない―今朝から何も食べぬ」と言っています。後に結核で倒れる松崎の胸をすでに病魔が襲っていたのでしょうか。

豊作は08（明治4）年、旭川1

条3丁目で生まれました。父・熊蔵は金物店兼鍛冶屋を経営。開拓が進む上川地方では耕起に必要なプラオなどの注文も多く、製作に追われていたことでしょう。

豊作は小学校卒業後、永山農学校（現旭川農業高校）に進みますが、父の鍛冶屋は倒産。豊作は退学（休学？）し、家業再建に奔走します。17歳で「マルクスノ著書ヲ読ミ共産主義ニ共鳴」（札幌控訴院「集産党事件概要」）したのかもしれない。

このころ「旭川新聞」は若者たちに新興文学、プロレタリア文学「論争」の場を提供しました。

ここへ旭川の今野大力や小熊秀雄、名寄新芸術協会の北村順次郎や藤田みはる（永伯）らが参加してきました。同協会に加盟した豊作の名前も登場するようになりまし。同協会は名寄に事務所を持ち、

専従書記となった豊作は度々名寄へ行くことも多くなったのでしよう。

同協会は、25年5月に創立されて70人ほどの青年男女たちが加入。協会は芸術部、文芸部、出版部のほか、社会部、経済部、争議部もあり、青年の広範な関心に沿った部がありました。

地域も名寄だけでなく、士別、稚内などにも支部を広げていました。社会部や争議部もあるように、小樽の港湾労働者の争議や、樺太・本斗の労組や室蘭の労働運動とも連絡を取っていたといわれています。

権力の側が作った文書では27年8月27日、集産党が結成されたことになっています。党の目的は「マルクス主義ヲ実行シ、我国ニ於ケル私有財産制度ヲ否認シ、産業機関ヲ社会公有ノ経営ニ移行シテ共産制度ヲ実現スルニアリ」とあります。松崎が、中央常任書記兼中央執行委員長に選ばれた、となっっています。

豊作らが「私有財産制度」の否認を第一に主張したかどうかは疑

わしいと思います。大審院の公判でも争われた形跡があります。

これより先、7月にコミンテルンの片山潜らによって作成され、後に日本共産党の正式の綱領的文書になった、いわゆる「27年テーゼ」が発表され、雑誌「文芸戦線」10月号にあらましが紹介されていますが、豊作らが果たしてこれを目にするものがあつたでしょうか。このころ道内には日本共産党は存在しませんでした。

「集産党弾圧」は27年11月13日から始まり、15日、豊作は士別で逮捕されました。翌28年5月に旭川地裁判決、1月の札幌控訴院判決でいずれも松崎は禁錮2年に。29年4月に上告棄却、豊作ら石井長治、浜野勇一、佐藤鉄之助ら4人の実刑が確定し、網走刑務所に収監されました。

しかし、豊作は獄中で結核を発病、旭川日赤病院に移されますが、翌30年4月14日に死亡。22歳の若さでした。葬儀には警察が見張っていて、同志たちは参加できませんでした。

（中央本部顧問・宮田汎）

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

サイパンの凄絶なる体験に戦後生まれの我ら涙す

埼玉県 白川 洋子

核禁止条約日本も参加せよ意見書可決659議会

兵庫県 岸本 守

毎月の「いしづえ会のご命日表」に心燃やしたり哀しき旋律

大阪府 丸尾ことよ

岩手県 牛山 靖夫

「殺傷兵器の輸出容認・自公」郷土紙初めて一面トツ

岐阜県 田中 良

戦争の惨禍伝える番組を孫に見せんと今夜も録画す

東京都 稲邑 明也

テレビどこも特番組みて訴える八月は熱く平和を思

岐阜県 和田 昌三

伊那谷の澄みきった青空の下友は畑に散骨されて

沖縄県 塩田 伸子

父復員に家中涙の夏の朝嬉しきあの日今なお鮮明

埼玉県 福家 駿吉

橋桁の鉄骨落下し死者二人愛知・北九州の出稼ぎの

静岡県 江川 佐一

〈選のあとに〉八月の投稿作品、いずれも反戦・平和を求める切実さをこめたものだった。巧拙があるのは避けがたいとしても、歌への一途さが共通として感じられるのは喜びである。丸尾ことよさんの付記に「あと何カ月歌がつくれるのか」とあった。「生きて下さい。歌をつくって!」

俳句

八月を描きつくせぬ平和展

望月たけし選

花火現ミサイル現ウクライナ

埼玉県 小池 荘八

核抑止論乗り越えて来よ平和

東京都 岡崎たかね

花火師の出番到来長良川

東京都 今井まき子

眼裏に党史百年朱に記す

三重県 橋本しげる

評一句目、戦後七八年目の八月。描きつづけることは、時代への挑戦。五句目、反戦を貫いた百年を誇りに、更なる社会変革をめざして、学びつつ行動する。

神奈川県 天野三葉子

川柳

街の灯もないと淋しいウクライナ

鈴木いさお選

評 罪なき民への攻撃や、ライフラインの破壊は断じて許せない。電源を絶たれ、暗い夜を余儀なくされたウクライナの街の淋しさよ。

大阪府 堺谷九条男

八月忌戦後のままと空仰ぐ

北海道 三隅 雅游

身を切れと民の声切る議員減

大阪府 大和 峯二

年金者値上げ値上げで身が細る

東京都 中村 茂樹

核抑止市長二人がダメと言う

大阪府 佐々木雅博

ブロック交流集会予定表

○北海道 検討中

○東北 11月12・13日

青森県浅虫温泉

○関東 10月9・10日

千葉県・ホテルポトプラザ

○北信越 10月10・11日

長野市・ホテル信濃路

○東海 10月23・24日

三重県菰野町・湯の山温泉

○近畿 10月25・26日

大阪市・道頓堀ホテル

○中国 9月10・11日

下関市・海峡ビュ

○四国 9月8・9日

高知城ホール

○九州・沖縄 10月22・23日

長崎市・ホテルセントヒル長崎

治維法の女性たちの戦い、 千葉県松戸の講演で

同盟松戸支部の講演・学びのつどいが7月23日、松戸市内で開かれ、藤田廣登・同盟中央顧問が80分にわたり、熱く語りました。

藤田氏は、戦前の日本を外に向かつては侵略、内に向かつては、野蛮な弾圧―女性の無権利状態という天皇制国家の実態を告発。ついで、天皇制国家に対する自由民権運動から始まる憲法制定・国会開設要求、労働、農民運動のたたかいをスケッチ。ついで小林多喜二、伊藤千代子、山本宣治らの第一回普選要

求のたたかいにふれ、支配階級に衝撃を与えた、共産党が生き残っていた。男性だけでもこれだけの得票を得た。無権利の女性が参加したら…とのおどろき弾圧を強め、女性活動家が多く検挙され、伊藤千代子の入党、投獄にふれました。

さらに新しい女性活動家の登場―千代子、原菊枝、平林せん、塩澤富美子らの英雄的な獄中闘争の展開を紹介。千代子が社会科学を学び、非合法の日本共産党の出会い、24歳で命を落とすたことを同時代を生きた多喜二実績などを交えて語り、戦後の日本国憲法のいしずえとなったこと強調しました。

参加者からは、戦争、戦前からの歴史背景も詳細に説明されてよ

り解明できました。伊藤千代子のあの時代をひたむきに生きたことを映画で見てよかったです。戦争法や憲法を改悪する策動のあるなかで、歴史の真実をみつめて戦争の恐ろしさを伝えていきたいなどの感想が寄せられました。(高橋妙子・県同盟副会長)

【訂正】 本紙8月号8ページの8・15終戦記念日宣伝ビラの「核兵器禁止条約に参加を」の「92か国が賛成して2017年に採択」に訂正します。

事務局日誌

- 8月7日 北海道本部三役会 同日 編集会議
- 8月15日 8・15池袋駅街頭宣伝
- 8月15日 民医連創立70周年記念集会
- 8月27日 静岡県本部総会
- 同日 愛知県本部大会
- 8月28日 会長・事務局会議

今年の全国女性交流集会是愛知で開催

『新しい戦前にしない』運動を大きく広げ、集まりました
申し込み受付しています

日時・10月29日(日)〜30日(月)
会場・愛知県蒲郡温泉郷 ホテル竹島
記念講演半田滋さん(防衛ジャーナリスト)
全ての都道府県から参加ください

2023年春季号 (45号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



【巻頭論文】「安保3文書」に意図する軍拡「戦争する国」づくり―岸田政権の危うさ=清水雅彦、憲法を踏みにじて戦争準備にひた走る岸田政権を許すな=小林節、鈴木安蔵の精神―憲法9条を守る意義=金子勝、安保3文書と軍拡の危険性=川田忠明、日本近現代史における軍拡・増税と今=大日方純夫、安保3文書に立ち向かい、平和への展望をひらく学びをどうつくるか=石山久夫、【文化】考古学者・戸沢充則の仕事=勅使河原彰、多喜二文学の拡がり=荻野富士夫、生物学者山宣は戦争にいかに向き合ったか=永島民男、■治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願の22年度紹介議員一覧

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。